

# 令和3年度大学教育再生戦略推進費 「知識集約型社会を支える人材育成事業」計画調書

[基本情報]

|  |  |  |                  |                 |                   |              |      |       |
|--|--|--|------------------|-----------------|-------------------|--------------|------|-------|
| 1. 大学名   | 名古屋商科大学  |  |                  |                 |                   |              |      |       |
| 2. 機関番号  | 33914  |  |                  |                 |                   |              |      |       |
| 3. 事業者<br>(大学の設置者)   | ふりがな くりもと ひろゆき<br>(氏名) 栗本 博行 (職名) 理事長  |  |                  |                 |                   |              |      |       |
| 4. 申請者<br>(大学の学長)  | ふりがな くりもと ひろゆき<br>(氏名) 栗本 博行 (職名) 学長   |  |                  |                 |                   |              |      |       |
| 5. 事業計画責任者   | ふりがな おの ゆうじ<br>(氏名) 小野 裕二 (所属・職名) 商学部長・教授、学園常務理事   |  |                  |                 |                   |              |      |       |
| 6. メニュー  | メニューⅢ インテンシブ教育プログラム  |  |                  |                 |                   |              |      |       |
|  | 事業計画名  | ケースメソッドを補完するフィールドメソッドを活用した学外連携型の教育システムとアントレプレナーの養成 |                  |                 |                   |              |      |       |
| 7. 取組学部等名【授与する学位】<br>・受入学生数(1学年あたり、事業最終年度)                           | ■取組学部等名【授与する学位】<br>商学部マーケティング学科【学士(商学)】<br>■受入学生数(1学年あたり、事業最終年度)<br>99名  |  |                  |                 |                   |              |      |       |
| 8. 事業計画のポイント(400字以内)   | 本事業では、「ケースメソッド」と「フィールドスタディ」をインテンシブ且つ相乗的に組み合わせ開講し、プログラム全体の体系化および整合性の確保を図ること、コミュニケーション能力、責任ある態度など密度の濃い体験的学びを実現する。フィールドスタディを本格的に教育プログラムに導入することで、産業界や地域社会の要請に対応する人材を養成する。<br>特に学部間の特徴の明確化を打ち出し、本学が取り組んできたケースメソッドによる追体験で不足する実体験を学外実習で補うと共に、自己点検評価の分析によって明らかとなったビジネス上の問題解決力を演習と実習の相乗効果で高めることで地域総合型のアントレプレナーを養成する事を本事業の目的とする。 |  |                  |                 |                   |              |      |       |
| 9. 学生・教職員数   |  | 学生数  |                  |                 |                   | 教職員数(R3.5.1) |      |       |
|  |  | 入学定員<br>(令和3年度)                                    | 全学生数<br>(R3.5.1) | 収容定員<br>(令和3年度) | 定員充足率<br>(R3.5.1) | 教員数          | 職員数  | 合計    |
|  | 学部   | 800 人  | 2,852 人          | 3,200 人         | 89.1%             | 101 人        | 63 人 | 164 人 |
|  | 大学院  | 250 人  | 510 人            | 500 人           | 102.0%            |              |      |       |
| 合計   | 1,050 人  | 3,362 人  | 3,700 人          | 90.9%           |                   |              |      |       |
| 10. 大学が設置する全ての学部等名   | 経済学部、商学部、経営学部、国際学部   |  |                  |                 |                   |              |      |       |
| 11. 連携先機関名<br>(他の大学、民間企業等と連携した取組の場合の機関名)                             |  |  |                  |                 |                   |              |      |       |
| 12. 学校教育法施行規則第172条の2第1項において「公表するものとする」とされた教育研究活動の状況について、公表しているHPのURL | <a href="https://www.nucba.ac.jp/university/facts-and-figures/">https://www.nucba.ac.jp/university/facts-and-figures/</a>  |  |                  |                 |                   |              |      |       |

(大学名:名古屋商科大学)

(事業計画名:ケースメソッドを補完するフィールドメソッドを活用した学外連携型の教育システムとアントレプレナーの養成)

| 13. 事業計画経費(単位:千円) ※千円未満は切り捨て |        |        |        |        |         |         |
|------------------------------|--------|--------|--------|--------|---------|---------|
| 年度(令和)                       | 令和3年度  | 令和4年度  | 令和5年度  | 令和6年度  | 合計      |         |
| 事業規模                         | 36,665 | 48,246 | 36,715 | 37,115 | 158,741 |         |
| 内訳                           | 補助金申請額 | 36,665 | 48,246 | 36,715 | 37,115  | 158,741 |
|                              | 大学負担額  | 0      | 0      | 0      | 0       | 0       |

※1. 文部科学省や他省庁が実施する他の補助金は「大学負担額」に計上しないこと。

※2. 国立大学における運営費交付金、公立大学における運営費交付金等、私立大学の私立大学経常費補助金等は「大学負担額」に計上しないこと。

(大学名:名古屋商科大学)

(事業計画名:ケースメソッドを補完するフィールドメソッドを活用した学外連携型の教育システムとアントレプレナーの養成)

## ▼取組概要

本事業では、「ケースメソッド」と「フィールドスタディ」をインテンシブ且つ相乗的に組み合わせることで、プログラム全体の体系化および整合性の確保を図ることで、コミュニケーション能力、責任ある態度など密度の濃い体験的学びを実現する。フィールドスタディを本格的に教育プログラムに導入することで、産業界や地域社会の要請に対応するアントレプレナーを養成する。

## ▼事業を行う背景・目的

本事業では、学部間の特色の明確化を打ち出し、本学が取り組んできたケースメソッドによる追体験で不足する実体験を学外実習で補うと共に、自己点検評価の分析によって明らかとなったビジネス上の問題解決力を演習と実習の相乗効果で高めることで地域総合型のアントレプレナーを養成する事を本事業の目的とする。

## ▼取り組みの計画

左記の目的を達成するため、以下のような取り組みを行う（取り組む内容を列挙）

- + 地域社会や産業界のニーズを踏まえ・連携した実践的教育のモデル構築
  - インターンシップを授業の中に組み込んだ「フィールド・スタディーズ（実習科目）」を中心に体系化したインテンシブ教育プログラムの設置
  - ビジネスコンテスト出場を目指した「ビジネスプランニング実践（実習科目）」を中心に体系化したインテンシブ教育プログラムの設置

## 取組概要

